

上条砂防堰堤見学・説明会

さわやかに晴れた青空の下、11月20日10時から約1時間、上条に建設されている砂防堰堤の見学・説明会があり、上条と桜台の町内会を中心に約70名が参加し、国土交通省と東区役所の担当者からの説明を聞きました。

最初に上条町内会の井手野下会長からの開会があり、その後、国交省の今井課長から砂防ダム建設の概要が説明され、木村課長からは砂防ダムの概要と建設の経過及び今後の工事についての説明がありました。

砂防ダムは堰堤の長さが85m、高さ11mで約1万1600m³（25mプール22個分）の土砂を溜められること、鋼製柵が設けられており、ここで流木などを止めることなどが説明されました。また、砂防ダムが完成したからといっても水は止められないので早めの避難、難しければ二階へ上がるなどの垂直避難の重要性も強調されました。

今後はダム下流の流路工を整備したあと、現在黒い大きな大型土のうを積んでいるあたりから下流側を広島市の方で水路を建設する工事が行われることなども説明され、東区役所の地域整備課宮原職員から水路の工事についての説明がありました。水路の工事は来年3月までにダムから団地上側までの完成をめざし、その後は団地横の水路を来年度、さ来年度からの2年間で残りの県道までの工事をすると説明でした。最後に工事を担当する若松建設の担当者から、12月末までに土砂の撤去をして3月末までの工期を守って安全に流路工の工事を行うのでよろしくお願いしますとの挨拶がありました。

そのあと参加者からの質問が出され、担当者から説明がありました。

【質問内容】

(1) 災害で堰堤が一杯になったらどうするか？

→堰堤手前左側にクレーンを置いて土砂を撤去する。

100以上あるが毎年点検しており、ある程度たまったら撤去する。去年は緑井の方の堰堤4か所の土砂を急遽撤去した。

(2) 堰堤の土背の埋めはどれくらいの深さがあるのか？

→表面から2, 3m。地盤の状態によっては地盤を固めて埋め込んでいる場合もある。

(3) 堰堤の中にどれくらい土砂が溜まっているのか住民が見に行けるか？

→里道があれば可能。本来危険区域なので見に行くことはやめてほしい。調査でドローンを飛ばすこともある。気になる場合は連絡してもらえれば対応する。

最後に桜台町内会の安永会長から、これで安心できると思いますが、避難も必要。今後の工事には住民の方の協力もお願いしたいとの挨拶があり、その後は参加者それぞれが見学や質問などを行って散会しました。

(記責 越智)



上条砂防堰堤見学・説明会の様子



井手野下会長から開会の挨拶



国交省今井課長の概要説明



国交省木村課長からの砂防堰堤の説明



東区役所地域整備課宮原職員の説明